

身心変容技法研究会

科学研究費基盤研究（A）課題番号23242006
身心変容技法の比較宗教学—心と体とモノをつなぐワザの総合的研究
（ワザ学研究会合同開催）

第33回

日時：2015年2月12日（木）13時～17時40分

場所：京都大学稲盛財団記念館3階大会議室

テーマ「**身心変容技法とワザと身体**」

13:00-14:20

「身心変容技法と人形浄瑠璃の身体論
—教育学の観点から」（発表40分＋議論40分）

奥井 遼

京都大学こころの未来研究センター・上廣こころ学研究部門特定研究員（教育学）
著書 『わざを生きる身体—人形遣いと稽古の臨床教育学』（近刊）

14:30-16:30

「筑紫舞・傀儡（くぐつ）舞と芸能と
シャーマニズム」（発表90分＋議論30分）

河田（鈴鹿）千代乃

神戸女子大学文学部・教授（日本文学・芸能研究）
主要著書・論文：『クグツの芸能と性のコスモロジー』
『祓えの芸—傀儡子・遊女・海人族のことなど—』
『もう一人のヤマトタケル—傀儡子の伝えた神話』
など

16:40-17:40

「身心変容技法研究会総括～
洞窟体験から始まるシャーマニズム・芸能・瞑想」
（発表30分＋議論30分）

鎌田 東二

京都大学こころの未来研究センター・教授（宗教哲学・民俗学）
近著：『講座スピリチュアル学第2巻 スピリチュアリティと医療・健康』
『講座スピリチュアル学第1巻 スピリチュアルケア』